

問 コロナ禍今後の対応は

町長 補正で早急に対応を

子育て世帯への

アンケート調査

問 まだまだ収束の見えない新型コロナウイルス感染症。昨年末に行った町内の子育て世帯へのアンケートだが、その経緯は。

答 生活困窮者への調査を行うなかで、もともと影響が大きいであろう子育て世帯の状況を確認するため、アンケートを行った。

問 アンケート結果の各部局での情報共有は。

答 総務課で結果を集計し、データを担当部に送り解析をしている。

問 結果では、経済的困窮家庭への支援、給付金による支援などが高いが今後の対策は。

答 このアンケートを基に、教育委員会を持っているデータと情報共有しながら、支援する方法を詰めていく。

問 次に多いのが学習面の支援。リモート学習などでは、光回線の進捗状況により地域間で差がでないか。

答 自宅でのインターネットに差がおきないように対応し、ICT推進委員会を含め、先生方とも協議していく。

問 次は、子どもの放課後などの居場所の問題。児童センターの自由来館など今後の考えは。

答 密をさけるため自由来館の制限を行っているが、家庭の事情では、個別の対応はしている。放課後の居場所としては、学校との協議を行い、バス待ちを外ではなく多目的ルームを開放している。

影響を受けた商工業者への新たな支援策は

問 昨年、事業者へ支援を行ったが検証は。

答 半数以上の申請があるが申請のない方も多く、減少幅が少ない事業者もあつたと考える。

問 今後の支援策は。

答 昨年末からの状況も変わっており、今後対象期間や減少割合などを含めて考えていく。

問 新規出店のみでなく、既存事業者が経営を継続するために、設備投資への支援の考えは。

答 店舗改修事業を拡充し、今後コロナ枠を設けての対策も必要ではないかと協議している。国の交付金を利用し、困っている人たちへの支援を早急に提案し、補正として対応する。

問 現消防庁舎利用の考えは

町長 町民参加の検討チームを



残った施設も有意義な活用を

既存公共施設の今後

問 消防庁舎が完成、移転後に旧庁舎をどのように活用するのか。

答 まちの市街地という立地条件、老朽化による維持管理費用や町民ニーズなどさまざまな視点から調査研究していく。

問 第5次総合計画、公共マネジメントの推進では、少子高齢化や人口規模にあった公共施設の維持管理や更新を検討するところだが、検討チームなどの考えは。

答 職員と、町民にも参加してもらい、さまざまな意見を聞いていく。



谷口 武彦 議員

子育て真っ盛り今年こそは旅行に連れていけるかな

問

町長